

# 希望の子

小林市立南小学校 校長通信  
令和3年1月29日 特別号 (文責 校長 吉井秀一)  
TEL: (0984) 23-3520 E-mail:1403eb@miyazaki-c.ed.jp

## みんなできつくる学校

1月25日(月)の朝。北門の信号に立つと、子どもたちがいつものように登校してきました。

長年この仕事をしていますが、子どもたちがそわそわしているときは、何ともいえない空気を肌で感じるものですが、この日は久しぶりに日差しも注ぎ、時期は早いです。清々しささえ感じられるような暖かさの中に、子どもたちの確かな落ち着きを感じました。挨拶を交わしながら、心の中で「大丈夫だな。」と安堵したところです。

トラブルの芽を見逃さないように、引き続き職員全員で最大限の注意を払っていますが、学校は今、通常の姿を取り戻しています。

保護者の皆様が、それぞれのご家庭でお子様と向き合っている、しっかりとお話をさせていただいたおかげです。本当にありがとうございます。

大阪市住吉区の大空小学校 学校の創立は、古くは小学は、今から15年前に創立した新しい公立学校です。学校ができた理由は、地方ではうらやましい限りの「児童数の増加」がある子どもが一緒に学ぶなどの取組が話題となり、多くの書籍で紹介され、ドキュメント映画までつくられています。

初代校長は、開校時から9年間校長を務めた木村泰子さん。学校づくりの根底には次のような方針があります。

「子どもが自分の学校を自分でつくる。」「サポーター(保護者)が自分の子どもの学校を自分でつくる。」「地域の人が、地域の宝が学ぶ地域の学校を自分でつくる。」「教職員が自分

が働く学校を自分でつくる。」「はじめて目にした学校らしき、「やっぱり新しい学校らしいなあ。」と感じていました。

「みんなの手でつくる」と

は今は昔の話ですが、私自身、冒頭の「大空小学校の方針と重なり、この一月ほど「みんなできつくる学校」を強く意識した時はありませんでした。

知事が「歴史的な危機」と表現する緊急事態の中、

「身近に迫る」コロナの広がりを防ぐ強い学校」

「混乱した中でも思いやりを忘れないやさしい学校」をつくるためにはどうしたらよいか?・・・目の前に大きな課題を突きつけられました。

しかし、私一人の心配は無用でした。教職員は、休みの間にさらに強固な体制を計画し、保護者の皆様は、お子さんに人権の大切さと思いやりのある行動について論じていただきました。そして子どもたちの落ち着き・・・「大丈夫。みんながひとつになって南小学校を自分たちでつくっていく。」それを強く実感した一月でした。感謝、感謝。

**今回は特別号** 校長通信は、各区長様方の御協力を得まして、地域の皆様にも読んでいただいておりますが、今回は「特別号」として保護者の皆様のみ配付とさせていただきます。裏面の「今後の学校行事について」もお読みください。

# 今後の学校行事について

国及び県の非常事態宣言継続の検討や  
コロナ感染者数の推移により、  
既に御案内している学校行事や今後の計画につきましても、  
常に状況を見ながら判断が必要な状況となっております。

次の行事につきましては、現在、以下のように考えております。  
なお、今後変更もあり得ることを御理解ください。

- 2月1日(月)～2月5日(金)の校時程  
放課後、職員による消毒作業時間確保のため  
通常の下校時刻と異なる場合がありますので  
時間割等でご確認ください。
  
- 2月3日(水)新入児入学説明会  
保護者のみ出席、説明会を実施せず  
当日資料配付、物品販売に変更しました。  
※ 全学年5時間授業給食後下校(下校時刻13:45～)
  
- 2月25日(木)参観日・5年「将来の夢」発表会・4年音楽発表会  
最後の参観日となりますので、現在のところ、  
御案内の計画で実施したいと考えております。  
なお、状況によっては実施しない学年があるなど  
計画の変更もあり得ます。
  
- 3月5日(金)お別れ集会、遠足  
感染防止策を十分に考えた計画を立てておりますので  
できるかぎり予定どおり実施したいと考えております。
  
- 3月25日(木)卒業式  
昨年度と同様に  
卒業生と卒業生の保護者のみの出席で計画しております。

今後も学校からの連絡にご留意ください。